

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年三月度 入選句（投稿総数千三百六十三句・小中学投句数七百八十八句）

特選

選者 遠藤 幹郎

卒業式指揮の手の先みんないる 大垣市 廣瀬 未侑(小六)

晴れの卒業式に、作者は、卒業生全員による合唱の指揮者を任されたのですね。指揮をとる自分の指先に、卒業生全員の視線が集まり、みんなの口もとから発する美しい歌声が、式場一ぱいを包み込んでいます。先生方、保護者や来賓の方々感謝の気持ちを、在校生には後を託す気持ちを込めて、仲間とともに一心に歌い上げている姿が目に見えるようです。

春風が 一気に 街を つつみこむ 大垣市 大倉 優舞(小四)

待ちに待った春がやって来た喜びの気持ち伝わって来ます。「一気に街をつつみこむ」という表現がとてもよく効いています。南から暖かで、明るく、のどかな春が街中に、まさに「一気に」やって来たのですね。寒い眠りの冬から覚めて、生気みなぎる春の訪れを豊かな表現力を駆使して詠い上げることができました。

登下校最後の 班長 山笑う 大垣市 高橋 香帆(小六)

今日は、最高学年として登下校の班長をつとめる最後の日を迎えたのですね。下級生の先頭に立つて毎日毎日みんなの安全を守る重責を果たすことのできた満足感が、「山笑う」という季語と響き合せて、よく伝わってきます。木の芽や木の花に包まれた春の山の明るい感じが、作者のやり終え、ほっとした気持ちと一体となって、この一句が生まれたのでしょう。

秀逸

ドリルをねいっばいやって春うらら 大垣市 渡邊 ひかり(小二)

めが出たね自分の力でチューリップ 大垣市 三島 愛結(小三)

ふまないで犬のふぐりが足もとに 大垣市 小野木 美純(小五)

和太鼓も卒業祝いドンドン 大垣市 高橋 真衣(小六)

げんかんにつばめのふうふ巣を作る 大垣市 吉岡 杏紗(小三)

うれしくてほほをそめてるひな人形 大垣市 安田 あずみ(小四)

しやぼん玉外のけしきもまんまるだ 大垣市 大倉 優舞(小四)

ふきのとうていぼうの土持ちあげる 大垣市 石司 淳果(小四)

春満月空にかがやく金メダル 大垣市 古田 晏寿(小四)

みつばちがブンブン飛んでえんそう中 大垣市 阿部 竜之介(小四)

入選

たんぽぽのわた毛が飛ぶよどこまでも 大垣市 野村 愛(小四)
 草もちをたべた口びるみどりいろ 大垣市 まつい みく(小一)
 朝おきてまどをあけたら春の雪 大垣市 白井 梨乃(小三)
 学校のさくらのつぼみふっくらと 大垣市 大原 麻由(小四)
 体いくで二重とびとべた春の風 大垣市 高田 瑞季(小四)
 剣道で面を六本風光る 大垣市 岡田 真周(小四)
 われるなよ天までとどけしゃぼん玉 大垣市 木村 彰太(小四)
 登下校ていぼうの色春の色 大垣市 高田 滉平(小五)
 焼さざえじやりじやりいうよぼくの口 大垣市 杉江 たける(小五)
 ひしもちの三色かどがそろってる 大垣市 小林 梨夏(小五)

入選

見いつけたつくしを母にプレゼント 大垣市 吉田 歩尚(小三)
 たんぽぽはわた毛になって旅に出る 大垣市 堀家 菜々子(小三)
 ひなまつりおひなさまがねわらってる 大垣市 林 心 菜(小三)
 さくらもちさくらのかおりがいいにおい 大垣市 川瀬 佳大(小三)
 バレンタインどんなチョコをもらえるか 大垣市 伊東 海陽(小三)
 春の山しんこきゆうしていいきぶん 大垣市 石場 ケンゾウ(小四)
 雪とけてずんとたたずむいぶきさん 大垣市 伊藤 誠章(小四)
 わらくわえ巢作り上手つばめさん 大垣市 杉原 由唯(小四)
 春風がみんなの心はずませる 大垣市 三輪 彩乃(小四)
 ばあちゃんのおにわにさいたうめのはな 大垣市 金森 早紀(小四)

選者吟

芽柳の風に揺れゐる川湊

遠藤 幹郎